With コロナ巣ごもり読書 XIV

『大鏡』道真VS時平 7

59代宇多と60代醍醐の親子天皇による「寛平、延喜の治」では、国史『三代実録』編纂、最初の荘園整理令発布、『延喜式』撰修などが行われたが、その中枢でともに精勤したのが道真と時平だった。

宇多勅命の『三代実録』編纂が始まったのは、道真47才が従四位下となった892年（日本紀略）で編者は時平、道真、大蔵善行ら。時平は20才にして既に従三位になっていた。

三代実録は日本書紀に始まる六国史の六番目で、56代清和、57代陽成、58代光孝三代（858～887）の天皇紀である。道真は同年、六国史の記事を中国史書に倣って分類編集した『類衆国史』を撰修していて、三代実録編纂でも大蔵善行とともに中心的役割を担ったとされている。

895年、道真は従三位に昇進。宇多譲位で醍醐即位の897年、二人は揃って正三位。道真は異例のスピード出世だった。899年には右大臣道真、左大臣時平となり、三代実録完成。901年1月7日、ともに従二位に昇進した。ここまで二人は同等の功績を評価されていたと考えていいだろう。なのに同年1月25日、醍醐は左遷の勅を発し、7月15日には昌泰から延喜へと辛酉改元した。何ソレ？である。

最初の「荘園整理令」は902年、醍醐によって発布された。701年班田収授法は全ての土地、人民を天皇所有として公地公民の班田を設置したが、人口増加で破綻。723年三世一身法も破綻。743年墾田永年私財法で田地増加は見たものの、有力貴族や寺社の私有地拡大で貧富の差が激化。浮浪逃亡、偽籍が横行し、9世紀末には税収不足で朝廷は深刻な財政危機に陥っていた。出所不明な荘園を停止抑制し、班田収受再興と税収確保を期して出されたのが荘園整理令である。

宇多の代から造籍、私営田抑制、租税納入への国司権限強化などが行われていて、醍醐の治も宇多の治の延長とされる。従って地方官経験者の道具も整理令作成には大いに関わっていたと思われる。が、発布は左遷後。そのとき政権中枢にいたのは時平だった。

整理令はこの後も平安期に十数回出されている。律令政権の疲弊と不安定さを物語るものと言っていいだろう。

905年醍醐勅の『延喜式』編纂で主導したのは時平である。延喜式は大宝律令を修正した養老律令の施行細則を集大成した法典5巻3300条。官人の職務規程、祭祀儀礼、神名式、宮中備品や厨事素材など詳細具体的な内容で、文化史研究に不可欠な史料とされている。

編纂は905年に開始したが、909年時平は死去。弟忠平が引継ぎ927年完成。改訂を重ねて967年施行という大事業だった。

この時代、醍醐による最初の勅撰和歌集『古今和歌集』（913年頃）も撰修されている。政治経済文化、幾つもの最初が光る進取の時代だった。

みしま古典を読む会　高月フミコ

註　道真とともに学会の双璧とされた。

小出正吾回想録（18）

「童話から童話へ」

Ⅱ　父の少年時代

（前号からの続き）

寄宿生の父は年少生徒の一人として、内外人の先生たちからも、友人たちからも温い指導を受けたらしい。私が中学生のころ、正月ごとに父から年賀ハガキの宛名書きを命じられたものだったが、その中には、明治学院時代の恩師や友人宛のものが幾枚もあったので、私もそういう方々の名前を憶えてしまったが、その中には、熊野雄七、水蘆幾次郎、杉森此馬、宮地謙吉等等の諸先生のお名前もあり、父からもよくそれらの方々の想い出を聞かされたことであった。

水蘆先生は評論家の堀秀彦氏の厳父だが、私は父からしばしば先生のお名前を聞いていたので、のちに早稲田へ入学した直後、学院に老先生をお訪ねしたところ、先生は非常に喜ばれて、長時間にわたって懐旧談を聴かせてくださったのであった。

杉森此馬先生は、英語の外に植物も教えられたということだが、ずっとのちに旅順の工科学堂かどこかへ転ぜられ、そこから父に箱根百合の球根をほしいというお便りがあり、私はそれを手に入れ、モミ殻の中へ詰めて一箱お送りしたところ、旅順で箱根の山百合が見事な花を咲かせてくれたというおたよりが父に届いたことがあった。

石本三十郎先生は当時英語に堪能なことではわが国第一人者と定評のあった先生で、夫人は服部綾雄先生の令妹だったが、不幸にして、のちプリンストン大学留学中に客死されたのであった。令息石本音彦さんは東京帝大英文科出身で、私の少年時代キリスト教界におけるロ演童話の名人ともいうべき存在で、三島教会の集会が私の山の家で開かれる時など、しばしばお話を聞かせてもらったもので、私にとっては口演童話の貴重な先生だったが、やがて実業家になってしまった。

父の同級生の中には、のちの学院高等学部長笹尾粂太郎博士もおられた。戦前私は同部社会事業科の主任教授を勤めるめぐり合わせとなり、同先生にはたいそうお世話になったことである。

父は早く世を去ってしまったが、明治学院はその子の私の代にまで及ぶ、まことに懐しい心のふるさととなったのである。

父が明治学院生活を過した思い出のヘボン館は、明治四十四年九月二十一日の早朝、原因不明の出火によって、隣りのハリス館とともに焼失してしまった。

不思議なことに、その同じ日の同じ時刻（午前五時）に、当のヘボン博士が郷土ニューヨーク郊外イースト・オレンジの隠棲地において永眠されたのである。

「ヘボン式ローマ字」「ヘボンの目薬」「銀座岸田吟香発売の精綺水」、最初の委員会訳『旧新約聖書』の翻訳委員、「ヘボンさんでも草津の湯でも」と唄われ、名優沢村田之助の脱疽治療に当って両手両足の切断という本邦最初の大手術を行った平文（ヘボン）さん、この博士については、あまりに多くの業績に触れなければならないのだが、ここには、ヘボン塾以来、築地大学校を経て明治学院創立に到った青少年教育者としての夫妻の高潔な精神に対して改めて感謝を捧げるのみに止めておかねばならぬ。

ヘボン夫妻

（続く）

沼津駅北口にあった国鉄沼津機関区（その7）

「熱海事件」なるものは、1946（昭和21）年1月10日のストライキ宣言をした東鉄内に絶大な影響力をもっていた山口寅吉を中心とする幹部に酒を呑ませて懐柔しようとした東鉄当局の策略にはまりかけたことが事の真相だった。何人かの証言によれば、大野屋に行って酒やビールを飲んだことは間違いないが、当局と何の約束もしなかったと言っている。

しかし、当時、急激に勢力を伸ばしていた省電労組や共産党グループから見れば、酒の席に着いたこと自体が問題で「ダラ幹を追放せよ」にあらわれているように許すことはできなかったのだろうと想像できる。あわせて、全国で主導権を握るためには、東鉄局で圧倒的な力を持っていた山口寅吉と沼津勢を封じ込めるいいチャンスととらえたと思われる。

このような考えかたは、この後、新橋管理局管内3支部分割にも表れ、新橋管理部内を、新橋、横浜、国府津に分け、山口寅吉と沼津勢を国府津支部に閉じ込め、結果としてこの時点で山口寅吉の中央進出は封じ込められてしまった。1月9日の新橋管理部労働組合の結成に加わらなかった省電中央労組は1946（昭和21）年1月13日、全国鉄労働者の結集を目指し、国鉄従業員組合準備会、新橋管内機関区労働組合、高崎機関区労働組合の四組合共同で、全国単一組合結成代表者会議を開催したが、意見の食い違いが大きく結成には至らなかった。しかし、東鉄内でも全国単一組合結成準備会に加わらなかったが独自に闘っていた多くの組合があった。このようなバラバラな闘いでは要求は通らないとして東京鉄道局内の闘争を統一しようという動きがでてきた。

2月4日、田端機関区で東京鉄道局管内組合連合体結成の打ち合わせが行なわれ、各組合が総結集することが全員一致異議なくまとまった。しかし、組織形態では意見は分かれたが、当面、連絡協議会として単一への組織化を下から盛り上げようということになった。こうして、1946（昭和21）年2月8日、田端電力区で東京鉄道局管内27組合が参加する共同闘争機関として「国鉄労働組合東京地方協議会」が結成され闘いは完全に一本化された。この時期、あわせて東京以外でも全国で管理部単位、職能単位、地域単位、職場単位でさまざまな形で労働組合が結成され、群雄割拠の状態だった。

これらは間もなく、管理局、地方鉄道局単位でまとまり始めていた。こうした中で全国統一した組合にまとめようという動きになってきた。自主的組合が単一体、官製組合が連合体を主張し二つの流れに集約されつつあった。国鉄当局は、1946（昭和21）年1月28日官製御用組合の全国組合的要素を持った組合の全国組織を作ろうと東京に各局の課長及び組合指導者を集めた。組合指導者たちは、逆に全国同志が集まる良い機会と捉え全国から代表者が参集した。そして、国鉄当局の意向を無視し会議は打ち切られ、組合代表者たちは千葉直鴨川で懇談会を開き、国鉄労組の統一について協議した。協議は、単一か連合体かで意見が分かれまとまらず「日を改めて協議しよう、会議準備は名古屋で行う」との提案が満場一致で採択され解散となった。

1946（昭和21）年2月25日、北陸片山津で国鉄労働組合結成準備会が招集された。沼津機関区は、東京鉄道局管内「東京地方協議会」として参加した。準備会では、単一、連合体の議論が行われ、13対38で連合体と決まり「国鉄労働組合総連合会」の結成を決めた。結成大会は3月15日東京で行うことを決めた。こうして50万人の国鉄労働組合総連合会が発足した。

（続く）

〈山梨・国労OB〉

感染者数激減

今回のコロナ対策で誰の目にもあきらかになったことだが、国は事実をなかなか認めようとせず、それどころか、何かと理由をつけて〝なかったこと〟にしようとする。コロナの感染者数激減も、PCR検査をなるべく行わない方向で濃厚接触者の範囲をこっそり狭め、感染者数を少なめに定め、減少傾向だと公表する。元々PCR検査の陽性者でも、発症しているとは限らず、無症状の場合もある。喉にカゼ菌がいるのとカゼをひくとは違うと言えばわかるだろう。今のように体調不良のあるクラスターで検査をするだけだと、無症状の陽性者を逃してしまう。ワクチン接種による無症状感染者の把握をしなければ実態は掴めない。例えばワクチン接種の際PCR検査をセットで行うとか、市中で無料のPCR検査ができるようにするべきだ。

9月末での全面解除は菅総理の退任前で尚且衆議院議員選挙前のパフォーマンス、後は都道府県で個別にやってまん防の要請は出すなと圧力があったという。選挙が終われば「検査数増やして第6波」。そして3回目の接種を進め、ワクパス導入で半年ごとに接種推進。ワクチン企業はウハウハ。

〈忘れてはいけない〉

本来は「緊急事態宣言中に医療体制を整える」そのための緊急事態宣言と言っていい。それが緊急事態宣言中に選挙体制を整え、オリンピックを政権浮揚の起爆剤ととらえ、高揚感を煽り支持率のため、選挙のため、政府自民党のために強行。国民の誰もが頭を傾げた筈だ。しかも弁当や食べ物の廃棄等色々な無駄が報道されている。衆院選の前に、膨れ上がった五輪の赤字額を示すべきだ！

〈ワクチン接種による死亡者〉

厚労省が令和3年10月1日に公表したワクチン副作用での疑いのある死者は1233人に達している。国に報告されなかったり、医療機関からの報告に国が「副作用の疑いがない」と勝手に決めつけているケースが少なくないため、実際にはもっと多くの方が亡くなっているはず。大体治験も終わっていないワクチンを打つのに、その副作用を集積していないということ自体おかしいと思う。さらに厚生労働省は10月15日、これまでていたコロナワクチン接種死亡者数を突然に発表停止。厚労省は接種後の死亡者数の停止を説明すべき。ツイッター上には接種後に死亡したとの報が多数見受けられる。ワクチンによって何人もの人が亡くなったり重篤な症状になってるのは明らかである。

〈過剰な言論統制〉

YouTubeは2020・4月WHOの見解を支持するとし、新型コロナウイルスに関する対立意見の動画をすべて削除すると表明した。削除対象となるのは、承認済みのコロナワクチンや罹患（りかん）を抑制できるといった主張や、病気の感染症やがん、不妊症を引き起こすといった言説を含むコンテンツ。同社は昨年以降、コロナワクチンに関する同社の規定に違反した動画13万本以上を削除したという。他のソーシャルメディア各社も、コロナに関するデマを抑制するための方針を設けている。米ツイッターは今年に入り、ワクチンに関するツイートのうち、陰謀論や、研究や信頼できる報道に基づかない説明を含むものにラベルを表示する措置を発表。米フェイスブックも、社内のリソースを活用してコロナワクチンの普及支援を目指すとしていた。

ここまでくれば反対意見を削除して言論統制しているのは明らかであり、これでは正しい民主主義が行える訳がない。

〈純〉

郷土の文学碑 ⑳

「喧嘩次郎兵衛」より

むかし東海道三島の宿に、鹿間屋逸平という男がいた。曽祖父の代より酒の醸造をもって業としていた。酒は醸造主のひとがらを映すものといわれている。しかもなかなかに辛口であった。酒の名は水車とよばれた。・・・

けれども次男の次郎兵衛となると少し様子がちがっていた。彼の気質の中には政治家の泣き言の意味でない本来の意味の是々非々の態度を示そうとする傾向があった。それがために彼は三島の宿のひとたちから、ならずもの、と呼ばれて不潔がられていた。

次郎兵衛は商人根性というものをきらった。・・・

次郎兵衛は、二十二歳の夏に是非とも喧嘩の上手になってやろうと決心したのであったが、それはこんな訳からであった。

三島大社では毎年8月の15日にお祭りがあり、宿場の人は勿論 沼津の漁村や伊豆の山々から何万という人がてんでに団扇を腰にはさみ大社さしてぞろぞろと集って来るのであった。三島大社のお祭りの日には、きっと雨が降るとむかしのむかしからきまっていた。三島の人は派手好きであるから、その雨の中で団扇を使い、踊屋台がとおり、山車がとおり花火があがるのを、びっしょり濡れて、寒いのを耐えながら見物するのである。・・・その日から三年のあいだ次郎兵衛はこっそり喧嘩の修行をした。・・・つぎの一年は家の裏手にあたる国分寺跡の松林の中で修行をした。・・・

次郎兵衛は三島のまちのほとんどどこの曲りかどにでも水車へ眼をつけた。富士の雪が溶けて数十条の水量のたっぷりな澄んだ小川となり、三島の家々の土台下や縁先や庭の中をとおって流れていて苔の生えた水車がそのたくさんの小川の要処要処でゆっくりゆっくり廻っている。次郎兵衛は夜、酒を呑んでのかえりみち必ずひとつの水車を征伐した。廻りめぐっている水車の十六枚の板の手順々にぽかりぽかりと殴るのである。はじめは見当がむずかしくてなかなかうまく行かなかったのであるが、しだいに三島のまちで破れた舌をだらりとさげたまま休んでいる水車を見かけることが多くなった。

次郎兵衛はしばしば小川で水を浴びた。底ふかくもぐってじっとしていることもあった。喧嘩さいちゅうに誤って足をすべらし小川へ転落した場合のことを考慮したのであった。小川がまちじゅうを流れているのだから、あるいはそんな場合もあるであろう。さらし木綿の腹帯を更にぎゅっと強く巻きしめた。酒を多く腹へいれさせまいという用心からであった。酔いどれたならば足がふらつき思わぬ不覚をとることもあろう。三年経った。大社のお祭りが三度来て、三度すぎた。修行がおわった。・・・

（続く）

太宰治 ③

沼津アルプス産はちみつ
販売始めました
100g、200g,300g,600g、1Kgのびん詰めを用意しています
みつばちひろば
【取汲店】
市民ひろば
ジンタの天然マーケット
（毎日曜日 11時～13時）
Book cafe den（箱根入口）
和風カフェねこや（沼津みなと）
カフェ ナマケモノ（大仁）
ともり歯科（三島市中）
連絡先:080-3061-1561

おむすび にぎりたて 本格むすび
ひやり工房
清水町新宿 55
営業時間　6時～14時
定休日　第2水曜日
素材にこだわり、手握りにこだわり、握りたて本格むすび
★できたてをその場で食べられます
みそ汁とお茶は無料サービス
株式会社 岩崎米穀

ひろばパソコン教室のご案内
デジカメ　iPad
スマホ買ったけど使いこなせない（>く。）
第2・4水曜日 午後7時～8時半
市民ひろばにて
1回1000円
【個別指導対応】
iPad、スマホの使い方、ワード、エクセル、デジカメ、画像処理、3DCADの使い方等
連絡先：080-3061-1561（原田）

お弁当とおそうざいの店
お持ち帰り
天然野菜
FTW酵素玄米
さくらこ亭
11:00-13:00（月～土）
清水町中徳倉40の4
055 931 8241
毎週日曜休
・伊豆長岡天然野菜マーケット
・ジンタの天然野菜マーケット
にて、出店させて頂くこともありマス♡

労働相談受け付けます！
三島ふれあいユニオン
首切り解雇、残業代未払い
職場でのパワハラ・セクハラ
一人で悩まないで相談してください
三島ふれあいユニオンは
全力であなたをサポートします
電　話：090-4216-8417
Eメール：hrwsiys@yahoo.co.jp